

昭島礼拝 2020/5/31

聖書：エペソ 3:14-21

主題：神の愛の家族

賛美：

みなさん、おはようございます。今日 5/31 はペンテコステの日です。ペンテコステとは後ほど説明しますが、神様から弟子たちに約束の聖霊が注がれた日、教会の誕生日です。ペンテコステという言葉の意味は 50 日という意味になります。元々はイスラエルの伝統的なお祭り、七週の祭りと呼ばれる日で、過越しの祭りから数えて 7 週間後、49 日後、50 日目のお祭りの日です。出エジプト記において、イスラエルの民が奴隷であったエジプトから脱出し、シナイ山で神様と契約を結び、律法を受け取りました。そのことを記念して行うお祭りです。イエス様を信じる弟子たちも、この日、七週の祭りを祝うためにエルサレムに集まっていました。また同時に多くの人がこの七週の祭りを祝うために集まっていました。その時、神様の約束の聖霊が弟子たちに降ったのです。今日はその記念の日、ペンテコステの記念の礼拝です。クリスマス、イースターと並んで、キリスト教ではとても大切な日ですが、今年は新型コロナウイルスの影響で会堂に集まるのが難しく、残念です。しかしそれぞれの場所でこのペンテコステの恵みを共に神様から受け取りたいと思います。

エペソ人への手紙を続けて学んでおります。今日はエペソ 3 章を開いて頂きました。エペソ人への手紙は 1-3 章と 4-6 章で少し話題が変わります。全く違う話をするという事ではないのですが、1-3 章で神様の救いの奥義の解説をした後、4-6 章においては、神様の奥義の中で生きる私たちの生活の実践について触れています。1-3 章の基礎的な部分があつて、それを踏まえた上で 4-6 章

の生き方の提案が投げかけられているのです。エペソ 3 章は前半の神様の奥義の解説の締め括り部分になります。今日読んで頂いたエペソ 3:14-21 は、エペソ人への手紙を書いたパウロがエペソの人々のために祈り、神様を賛美するという祈りのかたちで一度、締めくくられています。「どうか、神様がエペソの教会の人々に神様の奥義を明らかに示してくださいますように。そして神様に栄光がありますように。アーメン」とパウロが祈っています。

この中でパウロはこの手紙の中で今まで書いてきたことを要約しています。神様は世界の基のすえられる前から壮大な計画を持っておられました。それはキリストにあつて、すべてのものが一つとされるという計画でした。神様はキリストの十字架の贖いによって、罪ある私たちを赦し、神様と私たちは和解し、一つとなりました。この神様からの救いは、ユダヤ人、イスラエル人だけに与えられるものではなく、世界中の全ての人に与えられているのです。もしユダヤ人、イスラエル人だけの救いであれば、私たち日本人にも救いは無かったのですが、神様は全ての人を救って下さったのです。そして私たち日本人もユダヤ人も、同じキリストにあつて、共に神様の御国を受け継ぐ、一つの神様の家族となったのです。エペソ 3:6 でパウロはこのように述べています。「それは、福音により、キリスト・イエスにあつて、異邦人も共同の相続人になり、ともに同じからだに連なって、ともに約束にあずかる者になるということです。」神様の救いはユダヤ人から始まりましたが、今では世界中の人に届けられ、すべての人が同じ神様を父なる神様として、キリストを長男として一つの家族になったのです。

ペンテコステの時の出来事は、まさにこのことを表している出来事と言えるでしょう。使徒の働き 2 章にペンテコステの日の出来事が記されています。イエス様が天に昇られてから 10 日間、弟子たちは集まって約束の聖霊が与えられるようにと祈っていました。七週の祭りが始まって、普段はエルサレムにい

ない外国に住んでいる人々もたくさんエルサレムの町に集まってきました。その日も弟子たちは心を併せて祈っていたと思います。すると突然、天からの激しい風が吹いて来たと聖書に書いてあります。そして炎のような舌が現れて、弟子たちの頭の上にとどまりました。すると弟子たちは外国の言葉で話し始めたのです。使徒 2:4-6 を読みます。「すると皆が聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、他国のいろいろなことばで話し始めた。5 さて、エルサレムには、敬虔なユダヤ人たちが、天下のあらゆる国々から来て住んでいたが、6 この物音がしたため、大勢の人々が集まって来た。彼らは、それぞれ自分の国のことばで弟子たちが話すのを聞いて、呆気にとられてしまった。」神様の霊、聖霊が弟子たちに強く臨んだので、弟子たちは神様の力に包まれて、外国の言葉で話し出しました。弟子たちにとっては聞きなれない言葉だったかもしれませんが、外国の人には普通の理解できる言葉でした。弟子たちが語っていたのは、イエス・キリストの十字架と復活、神様の救いについてでした。突然の激しい風と音でビックリした人が集まって来たので、多くの人がこの弟子たちの話を聞きました。そして多くの人がイエス様の救い、神様の救いを受け入れて洗礼を受けました。その日だけで 3,000 人ほどが洗礼を受けたと聖書に書かれています。こうしてイエス・キリストを信じて集まるキリスト教会は誕生したのです。ですからペンテコステは教会の誕生日と言えます。

このペンテコステの出来事は、まさに神様の奥義を示しています。神様は全ての人をキリストによって一つにすると計画されていました。ユダヤ人だけでなく、世界中の人々が神様の救いを受けて、キリストにあって一つとなるのです。ペンテコステの日、多くの外国に住んでいる人たちが、神様の救いを聞きました。そして神様を信じ、洗礼を受けました。どのような国に住んでいたとしても、どのような言葉を話していたとしても、どのような文化の違いがあったとしても、同じ神様にあって一つの家族となったのです。使徒 2:44-47 にはペンテコステの日誕生したキリストを信じる者の集まり、つまり最初のキリ

スト教会がどのようなことを行っていたのか記されています。「信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、45 財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。46 そして、毎日心一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、47 神を賛美し、民全体から好意を持たれていた。主は毎日、救われる人々を加えて一つにしてくださった。」この中で特に繰り返されている言葉は「一つ」という言葉だと思います。キリストにあって一つとされるというエペソ人への手紙で書かれていることがこの最初の教会の中で行われています。集まっている人々は、言葉も文化も違う人々だったでしょうから、生活スタイルもものの考え方も何もかもがバラバラだったと思います。しかし彼らは神様の霊、聖霊によって、神様の愛によって、その違いを超えて一つとされていました。お互いに尊重し、お互いに助け合い、共に同じ神様を礼拝し、兄弟姉妹であるという事を喜んで受け取っていました。これは人間の力や、人間の努力では達成できないことかもしれません。難しいからそんなことは止めてしまおうという事ではなく、みな神様を恐れ、自分が罪人であることを受け入れ、神様の霊、神様の愛を受け取って生活していたのです。

エペソ人への手紙に戻ります。神様はキリストにあって一つとするという計画をお持ちですが、これは、計画は神様が立てたから、あとは人間たちが頑張っただけという事ではありません。計画の実行も神様の力でなされていきます。エペソ 3:16 にはこう書かれています。「どうか御父が、その栄光の豊かさにしたがって、内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強めてくださいますように。」人間は弱い者です。人間の力や努力では全く違う者同士が一つとなって共に生きていくという事は困難でしょう。しかしこの計画を立てられたのは神様です。神様がその計画の全責任を持っておられます。神様は神様の力を信じる者たちの内に働かせてくださいます。そして神様の力によって、信

じる者たちは一つとされるのです。神様の愛によって信じる者たちが一つにされるのです。今現在、世界には 77 億人以上いるみたいです。私が学生だった頃は、60 億と言われていましたから、どんどん増えていきますね。この 77 億の人はみんな個性があり、同じ人は一人もいません。このようなバラバラの人がキリストにあって一致できるというのですから、神様の力、神様の愛は本当に奥深く、力強く、そして限りなく優しいものだと思います。パウロは自分も含めて、私たちがそのキリストの豊かな愛を知る事ができるようにと祈っています。エペソ 3:18-19 を読みます。「すべての聖徒たちとともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、 19 人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、あなたがたが満たされますように。」神様の愛の広さ、長さ、高さ、深さを私たちが知る事ができますように。今週も神様からこの愛を受け取る事ができますように。そして、その神様の愛に満たされますように。私たちが神様の愛に満たされ、その愛によって行動することで、世の中に神様の愛を示していく事ができます。そうしてさらに多くの人が神様の愛の素晴らしさ、神様の計画の偉大さ、何よりもそのような計画をお持ちの神様の栄光が表されますようにとパウロは祈っているのです。私達もパウロと同じ気持ちをもってこの祈り言葉を祈りたいと思います。エペソ 3:20-21 を一緒に読みましょう。「どうか、私たちのうちに働く御力によって、私たちが願うところ、思うところのすべてをはるかに超えて行うことのできる方に、 21 教会において、またキリスト・イエスにあって、栄光が、世々限りなく、とこしえまでもありますように。アーメン。」

一つとされた家族

キリストによって

神様が結び合わせてくださった

ペンテコステ

神様の霊が注がれた

違う言葉、国の人々がキリストにあって一つとなった

神様の奥義の現れ

神の愛が現れ

御霊に満たされ、神の力が表され

私たちが知る事ができるように

世に示されますように